

# 3日は、ひなまつりの献立です。



ちらしずし  
だいずと小魚のごまからめ  
てまりふのすまし汁  
ひなあられ  
牛乳

## 【行事について】

ひな祭りは、五節句のひとつの「上巳じょうしの節句」。「桃の節句」ともいい、女の子の成長や幸福を願うお祭りです。

ひな祭りには、ちらし寿し・はまぐりのお吸い物・白酒・ひなあられ・ひしもち・草もちなどを食べます。

## 【行事食について】

今日の給食は、ひな祭りのメニューです。

### ひな祭りの食べ物

**ちらし寿し**→春らしい菜の花やタイのでんぶ、おめでたいエビをあしらったちらしずしは彩りが美しく、女の子のお祭りにぴったりです。

**ひしもち**→赤には魔よけ、白には清らかさと長生き、緑には健康の願いが込められています。

緑色にはよもぎ、赤はくちなしの実で色づけされ、魔除けや邪気を払うなどの意味があります。

**ひなあられ**→もともとひしもちを細かく砕いて作ったあられでした。関東地方では、後に甘いポン菓子（米菓子）に変わりました。関東風の米を炒って色付きの砂糖がけをしたものと、関西風の塩やしょうゆ味の丸いあられとがあります。

**はまぐりのお吸い物**→2枚の貝殻は同じ貝同士しか合わないことから、「よい相手と結ばれ幸せになりますように」と願います。はまぐりは、上品な味のだしがとれます。

**白酒**→もち米とみりん、米こうじで作ったにごりのあるお酒です。

今日の給食に出ている料理にもそれぞれ願いが込められています。

## 【その他行事にまつわること】

### ◎ひな人形

室町時代ころから人形が飾られるようになり、江戸時代に段飾りができ、日本中に広まりました。ひな祭りといわれたのもそのころで、それまではひな遊びと言われていました。「ひな」とは、紙で作った小さな人形のことです。「ひなあそび」は「源氏物語」にも登場します。

### ◎「はまぐり」とひな祭り

はまぐりの貝がらは、昔から「貝あわせ」という遊び道具を作るのに使われてきました。